



# VMware NSX-T Data Center 2.4.2 リリース ノート

VMware NSX-T Data Center 2.4.2 | 2019 年 8 月 8 日 | ビルド 14269501

本リリース ノートの追加情報およびアップデート情報を定期的に確認してください。

## リリース ノートの概要

このリリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [互換性とシステム要件](#)
- [API および CLI リソース](#)
- [改訂履歴](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

## 互換性とシステム要件

互換性とシステム要件の詳細については、『[NSX-T Data Center インストール ガイド](#)』を参照してください。

## API および CLI リソース

NSX-T Data Center の API または CLI を自動化に使用する場合には、[code.vmware.com](https://code.vmware.com) を参照してください。

API ドキュメントは、[API Reference (API リファレンス)] タブから利用できます。CLI ドキュメントは、ドキュメント タブから利用できます。

## ドキュメントの改訂履歴

2019 年 8 月 8 日初版。

2019 年 8 月 23 日第 2 版。既知の問題 2362688 と 2395334 について記載しました。

2019 年 11 月 12 日。第 3 版。問題 2295470 を削除しました (2.4.1 で解決しました)。

## 解決した問題

- 解決した問題 2387470 : ALG 情報の取得中にホストでコア ダンプ (PSOD) が生成されることがある  
ALG トラフィックの処理中に、NSX-T 用に準備された ESXi ホストで CLI コマンド「vsipioctl getalginfo -f」が実行されると、コア ダンプ (PSOD) が生成されることがあります。
- 解決した問題 2391093 : すべての物理 NIC を N-VDS に移行するときに、NSX-T ホストが管理ネットワーク接続を失うことがある

この問題は、ホストの移行が再試行され、N-VDS で vmk0 が設定されている物理 NIC がすべて削除されると発生します。最初のホストの移行では、すべての物理 NIC と vmk0 が N-VDS に移行されますが、以降は失敗します。移行を再試行すると、すべての物理 NIC が N-VDS から削除されます。その結果、ユーザーはネットワークを介してホストにアクセスできなくなります。ホスト内のすべての仮想マシンもネットワーク接続を失い、サービスにアクセスできなくなります。

- **解決した問題 2392093** : T0 で SNAT と DNAT が設定されている場合に、RPF チェックが原因でトラフィックがドロップする  
SNAT と DNAT が設定されているときに、Tier-0 と Tier-1 ルーターが同じ Edge ノードにあり、トラフィックが T0 ダウンリンクを介してヘアピンされると、RPF チェックでトラフィックがドロップする場合があります。
- **解決した問題 2392201** : CBM プロセス メモリが大量に使用され、CBM プロセスが繰り返しクラッシュする  
Cloud Service Manager アプライアンスの CSM プロセスと CBM プロセスで、データベースの圧縮が失敗します。その結果、CBM プロセスのメモリが大量に使用され、CBM プロセスが繰り返しクラッシュします。
- **解決した問題 2382619** : VMware Identity Manager ユーザーが NSX Manager ダッシュボードのポリシー画面にアクセスできない  
VMware Identity Manager で、グループ権限を含むロールが付与されたユーザーが、NSX Manager ダッシュボードのポリシー画面にアクセスできません。グループ割り当ての権限は無視されます。
- **解決した問題 2382620** : NSX Edge アプライアンスでメモリリークが発生し、プロセスがクラッシュまたは再起動する  
大規模な構成の実行中に、ルーターの構成を取得しようとする、次のようなエラー メッセージが表示されます。「予期しないエラーが発生しました。データプレーン サービスが失敗したか、無効になっています」長期間にわたって Edge データ プレーン プロセスがクラッシュまたは再起動し、コア ダンプが生成されます。ルールの検索が実行されるたびに、メモリ リークが検出されます。 フロー キャッシュをクリアしても、VIF インターフェイスが削除されないため、メモリ リークが発生します。
- **解決した問題 2382628** : ALG トラフィックの処理中に ESXi ホストで PSOD が発生することがある  
トラフィックが数日間実行された後、ESXi がクラッシュ (PSOD) します。クラッシュが発生する前に、他の影響は見られません。ALG トラフィック (FTP、Sunrpc、Oracle、Dcerpc、TFTP) で、原子化されていない増加カウンタが競合状態になり、ALG ツリー構造が破損すると、この問題が発生します。
- **解決した問題 2387486** : NSX-T Edge の BGPD プロセスで、複数の VTYSH セッションが開始すると、CPU の使用率が 100% に達することがある  
VTYSH で複数のセッションが実行されると、NSX-T Edge の BGPD プロセスで CPU の使用率が 100% に達する場合があります。BGP を再起動しない限り、CPU の使用率が 100% のままになり、大きな問題が発生する可能性があります。
- **解決した問題 2392089** : リンク ポートを通過するトラフィックで NAT ルールが無視される  
Tier-0 と Tier-1 の論理ルーターを接続しているリンク ルーター ポート タイプで NAT サービスが有効になっていません。
- **解決した問題 2382625** : 再設定後にロード バランサでメモリ リークが発生する  
NSX ロード バランサで設定イベントが連続または繰り返し発生すると、メモリ リークが発生し、nginx プロセス コア ダンプが生成されることがあります。

## 既知の問題

既知の問題には次の項目が含まれます。

- [一般的な既知の問題](#)
- [インストールに関する既知の問題](#)

- NSX Manager に関する既知の問題
- NSX Edge に関する既知の問題
- 論理ネットワークに関する既知の問題
- セキュリティ サービスに関する既知の問題
- ロード バランサに関する既知の問題
- ソリューションの相互運用性に関する既知の問題
- 運用および監視サービスに関する既知の問題
- アップグレードに関する既知の問題
- API に関する既知の問題
- NSX Cloud に関する既知の問題

## 一般的な既知の問題

- 問題 2389109：Edge のホスト名が数字で始まる場合、T0-SR で BGP/ルーティングが機能しない  
Edge のホスト名が数字で始まり、設定がルーティング スタックにプッシュされない場合、T0-SR で BGP/ルーティングが機能しません。これは既知の制限です。

回避策：CLI を使用して、ホスト名が数字で始まらないようにホスト名を変更します。変更を反映するため、Edge ノードでメンテナンス モードを有効または無効にします。

- 問題 2239365：「承認されていない」というエラーが表示される  
ユーザーが種類の同じブラウザで認証セッションを複数開こうとすると、このエラーが発生することがあります。このエラーが発生すると、ログインに失敗して認証できません。ログの場所：`/var/log/proxy/reverse-proxy.log` `/var/log/syslog`

回避策：認証のウィンドウやタブをすべて閉じてから、認証をもう一度やり直してください。

- 問題 2252487：複数のトランスポート ノードが並行して追加されると、BM エッジ トランスポート ノードのトランスポート ノードの状態が保存されない  
管理プレーンのユーザー インターフェイスで、トランスポート ノードの状態が正しく表示されません。

回避策：

1. Proton を再起動すると、トランスポート ノードの状態がすべて正常に更新されます。
2. このほか、API (`https://<nsx-manager>/api/v1/transport-nodes/<node-id>/status?source=realtime`) を使用してトランスポート ノードの状態を照会することもできます。

- 問題 2256709：vMotion の実行中に、インスタント クローン仮想マシン（スナップショットから復元した仮想マシン）で一時的に AV 保護が失われる  
スナップショットから仮想マシンを復元し、その仮想マシンを別のホストに移行した際に発生します。移行後のインスタント クローン仮想マシンについて、パートナー コンソールに AV 保護の情報が表示されません。AV 保護が一時的に失われます。

回避策：なし。

- 問題 2261431：他の展開のパラメータによっては、フィルタ適用後のデータストア一覧が必要になる  
選択したオプションが正しくない場合には、それに応じたエラーがユーザー インターフェイスに表示されます。エラーが発生した展開を削除して新しい展開を作成すると、エラーが表示されなくなります。

回避策：クラスタ化された展開を作成する場合には、共有データストアを選択してください。

- 問題 2274988：サービス チェーンで同じサービスの連続するサービス プロファイルがサポートされない  
サービス チェーンに同じサービスに属するサービス プロファイルが 2 つ連続して存在していると、トラフィックはサービス チェーンを経由しないため、トラフィックがドロップします。

回避策：所属するサービスが同じサービス プロファイルが 2 つ連続しないように、別のサービスのサービス プロファイルを追加してください。このほか、連続する元の 2 つと同じ処理を実行する第 3 のサービス プロファイルを定義して、サービス チェーンでそのプロファイルを単独で使用方法も有効です。

- 問題 2275285：ノードがクラスタに参加するための要求を実行した場合に、その要求が完了してクラスタが安定するよりも前に、同じクラスタを対象とする 2 回目の参加要求が実行される  
クラスタが正しく機能しなくなり、CLI コマンド (get cluster status または get cluster config) を実行したときにエラーが返されることがあります。

回避策：最初に参加要求を出してから 10 分間は、同じクラスタに参加するための join コマンドを新たに実行しないようにしてください。

- 問題 2275388：ルートを拒否するフィルタが追加される前に、ループバック インターフェイス/接続済みインターフェイスのルートが再配分されることがある  
不要なルート更新により、トラフィックの分散に数秒から数分程度かかるようになることがあります。

回避策：なし。

- 問題 2275708：プライベート キーにパスフレーズが設定されていると、証明書と一緒にプライベート キーをインポートできない  
返されるメッセージは「証明書の無効な PEM データを受け取りました。(エラー コード: 2002)」です。新しい証明書とプライベート キーと一緒にインポートすることができません。

回避策：

1. 証明書とプライベート キーを作成します。新しいパスフレーズの設定を求めるメッセージが表示されたら、パスフレーズを入力せずに Enter キーを押してください。
2. [証明書をインポート] を選択して、証明書ファイルとプライベート キーファイルを選択します。確認のため、キーファイルを開きます。キーの生成時にパスフレーズを入力していると、ファイルの 2 行目に「Proc-Type: 4,ENCRYPTED」のような文言があります。

キーファイルの生成時にパスフレーズを指定しなかった場合には、この行がありません。

- 問題 2277742：NSX-T Manager アプライアンスにホスト名ではなく完全修飾ドメイン名 (FQDN) が設定されていると、要求の本文で publish\_fqdns を true に設定した PUT [https://<MGR\\_IP>/api/v1/configs/management](https://<MGR_IP>/api/v1/configs/management) が失敗することがある  
FQDN が設定されている状態では、PUT [https://<MGR\\_IP>/api/v1/configs/management](https://<MGR_IP>/api/v1/configs/management) を呼び出すことはできません。

回避策：NSX Manager の展開にあたっては、FQDN ではなくホスト名を使用してください。

- 問題 2279249：vMotion の実行中に、インスタント クローン仮想マシンで一時的に AV 保護が失われる  
この問題は、インスタント クローン仮想マシンをあるホストから別のホストに移行すると発生します。移行直後に EICAR ファイルが仮想マシンに残された状態になります。そのため、AV 保護が一時的に失われます。

回避策：なし。

- 問題 2292116：IPFIX L2 の画面でグループを作成するときに、IPFIX L2 の [適用先] に CIDR ベースの IP アドレス グループが一覧表示されない  
[適用先] ダイアログから IP アドレスのグループを作成し、[メンバーの設定] ダイアログ ボックスで正しくない IP アドレスまたは CIDR を入力すると、このメンバーはグループに表示されません。再度グループを編集し、正しい IP アドレスを入力する必要があります。

回避策：グループの表示画面に移動し、このグループに IP アドレスを追加します。これで、[適用先] ダイアログでグループが入力されます。

- **問題 1957072**：ブリッジ ノードのアップリンク プロファイルでは、複数のアップリンクに対して常に LAG を使用する必要がある

LAG（リンク アグリゲーション グループ）を設定していない複数のアップリンクを使用すると、トラフィックのロード バランシングが行われず、正常に動作しない場合があります。

回避策：ブリッジ ノード上の複数のアップリンクには、LAG を使用します。

- **問題 1970750**：高速タイマーの LACP を使用したトランスポート ノード N-VDS プロファイルが vSphere ESXi ホストに適用されない

高速タイマーの LACP アップリンク プロファイルを NSX Manager 上の vSphere ESXi トランスポート ノードに適用すると、NSX Manager にはプロファイルが正しく適用された则表示されますが、vSphere ESXi ホストではデフォルトの LACP 低速タイマーが使用されています。vSphere のハイパーバイザーでは、LACP NSX が管理する分散スイッチ (N-VDS) プロファイルが NSX Manager のトランスポート ノードで使用されていても、lacp-timeout 値 (SLOW/FAST) の結果を確認できません。

回避策：なし。

- **問題 2268406**：追加されたタグが最大数に達すると、[タグ アンカー] ダイアログ ボックスに一部のタグが表示されない

追加したタグが最大数に達すると、[タグ アンカー] ダイアログ ボックスに一部のタグが表示されず、ダイアログ ボックスのサイズ変更やスクロールができなくなります。[サマリ] 画面にはすべてのタグが表示されます。失われたデータはありません。

回避策：代わりに、[サマリ] 画面でタグを確認します。

- **問題 2310650**：インターフェイスに「要求がタイムアウトしました」というエラー メッセージが表示される

インターフェイスの複数ページに次のメッセージが表示されます。「要求がタイムアウトしました。システムの負荷が高いか、リソースが不足している可能性があります。」

回避策：SSH を使用して NSX Manager 仮想マシンにログインし、CLI で start search resync manager コマンドを実行します。

- **問題 2320529**：新しく追加されたデータストアにサードパーティの仮想マシンを追加した後に「サービス展開用のストレージにアクセスできません」というエラーが発生する

クラスタ内のすべてのホストからストレージにアクセスできる場合でも、新しく追加されたデータストアにサードパーティの仮想マシンを追加した後に「サービス展開用のストレージにアクセスできません」というエラーが発生します。このエラー状態は最大 30 分間続きます。

回避策：30 分後に再試行します。あるいは、次の API 呼び出しを行い、データストアのキャッシュ エントリを更新します。

<https://{{NsxMgrIP}}/api/v1/fabric/compute-collections/<CC Ext ID>/storage-resources?>

uniform\_cluster\_access=true&source=realtime

NsxMgrIP は、サービス展開 API が失敗した NSX Manager の IP アドレス、CC Ext ID は、展開が試行されているクラスタの NSX の ID です。

- **問題 2320855**：[追加/確認] ボタンをクリックしないと、新しい仮想マシンにセキュリティ タグが作成されない

インターフェイスの問題です。ユーザーが新しいセキュリティ タグをポリシー オブジェクトまたはインベントリに追加し、「タグ-範囲」ペア フィールドの横にある **追加/確認** ボタンをクリックせずに **保存** をクリックすると、新しいタグ ペアが作成されません。

回避策：**保存** をクリックする前に、**追加/確認** ボタンをクリックします。

- 問題 2328126：ベアメタルの問題：NSX アップリンク プロファイルで Linux OS のボンディング インターフェイスを使用するとエラーが返される

Linux OS でボンディング インターフェイスを作成し、このインターフェイスを NSX アップリンク プロファイルで使用すると、「トランスポート ノードの作成に失敗する可能性があります」というエラーメッセージが表示されます。VMware が Linux OS のボンディングをサポートしていないため、この問題が発生します。VMware では、ベアメタル サーバのトランスポート ノードの Open vSwitch (OVS) ボンディングをサポートしています。

回避策：この問題が発生した場合は、ナレッジベースの記事 KB67835、[Bare Metal Server supports OVS bonding for Transport Node configuration in NSX-T](#)を参照してください。

- 問題 2334442：ユーザーが、管理者ユーザーの名前を変更した後に作成されたオブジェクトを編集または削除できない

ユーザーが、管理者ユーザーの名前を変更した後に作成されたオブジェクトを編集または削除できません。管理者/監査者ユーザーの名前を変更できません。

回避策：service nsx-policy-manager restart コマンドを発行して、名前の変更後にポリシーを再起動します。

- 問題 2261818：eBGP ネイバーから学習したルートが同じネイバーにアドバタイズされる

bgp デバッグ ログを有効にすると、返信されるパケットとドロップされたパケットがエラー メッセージに表示されます。BGP プロセスは、追加の CPU リソースを使用して、ピアに送信された更新メッセージを破棄します。ルートとピアの数が非常に多い場合、ルートのコンバージェンスに影響する可能性があります。

回避策：なし。

- 問題 2390624：非アフィニティ ルールにより、ホストがメンテナンス モードのときにサービス仮想マシンの vMotion ができない

2 台のホストから設定されるクラスタにサービス仮想マシンが展開されている場合、HA ペアに非アフィニティ ルールが設定されていると、メンテナンス モードのタスクの実行中に仮想マシンを他のホストに vMotion できません。これにより、ホストでメンテナンス モードへの切り替えが自動的に行われない可能性があります。

回避策：vCenter Server でメンテナンス モードのタスクが開始する前に、ホストのサービス仮想マシンをパワーオフします。

## インストールに関する既知の問題

- 問題 1957059：unprep の実行時に VIB が存在するホストをクラスタに追加すると、ホストの unprep に失敗する

クラスタにホストを追加する前に VIB が完全に削除されていないと、ホストの unprep 操作が失敗します。

回避策：ホストの VIB を完全に削除してからホストを再起動します。

## NSX Manager に関する既知の問題

- 問題 2282798：同時に多くの要求またはホストが NSX Manager への登録を試みると、ホストの登録に失敗することがある

この問題により、ファブリック ノードが失敗状態になります。ファブリック ノードの状態 API の呼び出しで、「クライアントがハートビートに対してまだ応答していません」と表示されます。ホストの /etc/vmware/nsx-mpa/mpaconfig.json ファイルも空になります。

回避策：この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. リゾルバ オプションを使用します。
2. NSX から FN を削除します。
3. CLI コマンド join management-plane を使用して、FN を手動で再度追加します。

## NSX Edge に関する既知の問題

- **問題 2283559** : Edge で RIB に 65,000 以上のルート、FIB に 100,000 以上のルートがある場合、`/routing-table` および `/forwarding-table` 管理プレーン API がエラーを返す  
Edge で RIB に 65,000 以上のルート、FIB に 100,000 以上のルートがある場合、管理プレーンから Edge への要求に 10 秒以上かかり、この結果タイムアウトになります。これは読み取り専用 API であり、API/ユーザー インターフェイスを使用して、RIB の 65,000 以上のルートおよび FIB の 100,000 以上のルートをダウンロードする必要がある場合にのみ影響を受けます。

回避策 : RIB/FIB を取得するには、2 つのオプションがあります。

- これらの API では、ネットワーク プレフィックスまたはルートのタイプに基づくフィルタリング オプションをサポートしています。これらのオプションを使用して、目的とするルートをダウンロードします。
  - RIB/FIB テーブル全体が必要な場合は CLI でサポートします。これによるタイムアウトはありません。
- **問題 2204932** : BGP ピアリングを設定すると、HA フェイルオーバー リカバリが遅延することがある  
T0 Edge とピアリングしているルーターで Dynamic-BGP-Peering を設定し、Edge (アクティブ/スタンバイ モード) でフェイルオーバー イベントが発生すると、BGP ネイバーシップの確立に 120 秒ほどかかる場合があります。

回避策 : 遅延を回避するため、特定の BGP ピアを構成します。

- **問題 2285650** : BGP ルート テーブルに不要なルートが追加される  
BGP 構成で Allowas-in オプションが有効になっていると、Edge ノードにアドバタイズされたルートが BGP ルート テーブルに戻され、インストールされます。これにより、メモリが過剰に使用され、余分なルーティング計算が発生します。超過ルートにより高いローカル プリファレンスが使用されている場合、この転送ループにより、一部のルーターのルート テーブルに冗長ルートが追加される可能性があります。

たとえば、ルート X がルーター D から開始し、ルーター A と B にアドバタイズされているとします。Allowas-in が有効になっているルーター C がルーター B とピアリングしている場合、ルーター C がルート X を学習し、ルート テーブルにインストールします。これにより、ルーター C にアドバタイズされるルート X のパスが 2 つになり、この問題が発生します。

回避策 : 転送ループを防ぐには、アドバタイズされるルートをブロックするように問題のあるルーター (またはそのピア) を設定します。

## 論理ネットワークに関する既知の問題

- **問題 2243415** : 論理スイッチを管理ネットワークとして使用して EPP サービスを展開できない  
EPP 展開画面で、ネットワーク選択コントロールで論理スイッチが表示されません。論理スイッチを管理ネットワークとして記述して API を直接使用すると、次のエラーが表示されます。「サービス展開用に指定されたネットワークにアクセスできません」

回避策 : ローカル、分散など、別のタイプのスイッチを使用して展開します。

- **問題 2288774** : タグが誤って 30 個を超えていることが原因で、セグメンテーション ポートで認識エラーが発生する  
ユーザーの誤った入力により、30 個を超えるタグの適用を試行します。しかし、ポリシー ワークフローでは、ユーザーの入力を適切に検証/拒否しないため、設定が許可されてしまいます。そして、30 個を超えるタグは使用できないという内容の適切なエラー メッセージとともに、ポリシーにアラームが表示されます。この時点で、ユーザーは問題を解決できます。

回避策 : エラー メッセージが表示されたら、設定を訂正します。

- **問題 2275412** : 複数のトランスポート ゾーン (TZ) でポート接続が機能しない



ポート接続は単一の TZ でのみ使用できます。

回避策：なし。

- **問題 2320147：影響を受けるホストに VTEP がない**

同じトランザクションで LogSwitchStateMsg の削除と追加を行い、管理プレーンが論理スイッチを送信する前にこの操作が中央の制御プレーンによって処理されると、論理スイッチの状態は更新されません。このため、VTEP が見つからず、トラフィックを送受信できません。

回避策：この問題が発生した場合は、中央の制御プレーンを再起動します。

- **問題 2327904：アップリンクとして事前に作成した Linux ボンディング インターフェイスを使用した後、トラフィックが不安定になる、または処理に失敗する**

NSX-T は、アップリンクとして事前に作成された Linux ボンディング インターフェイスをサポートしていません。

回避策：アップリンクの場合は、アップリンク プロファイルから OVS ネイティブのボンディング設定を使用します。

- **問題 2295819：Edge 仮想マシンがアクティブで、物理 NIC が稼働している場合でも、L2 ブリッジが「停止」状態になる**

Edge 仮想マシンがアクティブで、L2 ブリッジ ポートをバックアップする物理 NIC が稼働している場合でも、L2 ブリッジが「停止」状態になることがあります。Edge LCP がローカル キャッシュに保存された物理 NIC 状態の更新に失敗すると、物理 NIC が停止していると見なされるため、この問題が発生します。

\*ユーザーへの影響\*：

Edge l2bridge ポートからアクセス可能な仮想マシンのトラフィックが停止します。

回避策：影響を受ける Edge 仮想マシンでローカル制御エージェントを再起動します。

- **問題 2389993：ポリシー画面または API で再配分ルールを変更した後、ルート マップが削除される**

管理プレーンのインターフェイスまたは API から再配分ルールにルート マップを追加し、ポリシー画面のインターフェイスまたは API を使用して同じ再配分ルールを変更すると、ルート マップが削除される場合があります。この問題は、ポリシー画面のインターフェイスまたは API がルート マップの追加をサポートしていないために発生します。これにより、BGP ピアに不要なプレフィックスがアドバタイズされることがあります。

回避策：ルート マップをリストアするには、管理プレーンのインターフェイスまたは API に戻り、同じルールに再度追加します。再配分ルールにルート マップを含める場合は、常に管理プレーンのインターフェイスまたは API を使用して、ルールの作成と変更を行うことをおすすめします。

## セキュリティ サービスに関する既知の問題

- **問題 2395334：(Windows) ステートレス ファイアウォール ルールの conntrack エントリが原因で、パケットが誤ってドロップされる**

Windows 仮想マシンでは、ステートレス ファイアウォール ルールが完全にサポートされていません。

回避策：ステートフル ファイアウォール ルールを追加します。

- **問題 2296430：NSX-T Manager API が証明書の生成中にサブジェクトの代替名を提供しない**

NSX-T Manager API が証明書の発行でサブジェクト代替名を提供しません。この問題は特に、CSR 生成中に発生します。

回避策：拡張機能をサポートする外部ツールを使用して CSR を作成します。認証局から署名付きの証明書を受信したら、CSR からのキーを使用して、この証明書を NSX-T Manager にインポートします。

- **問題 2294410：L7 ファイアウォールで一部のアプリケーション ID が検出される**



SAP、SUNRPC、SVN の L7 アプリケーション ID はアプリケーションではなく、ポートに基づいて検出されます。次の L7 アプリケーション ID はサポートされていません。AD\_BKUP、SKIP、および AD\_NSP。

回避策：なし。これによるユーザーへの影響はありません。

- 問題 2314537：vCenter Server の証明書とサムプリントが更新された後、接続状態が「停止」になる

vCenter Server と NSX の同期で新しい情報に更新されないため、vCenter Server からデータを取得するオンデマンド クエリがすべて失敗します。ユーザーは新しい Edge またはサービス仮想マシンを展開できません。ユーザーは、vCenter Server に追加する新しいクラスタまたはホストを準備できません。ログの場所：NSX Manager ノードの /var/log/cm-inventory/cm-inventory.log と /var/log/proton/nsxapi.log

回避策：各 NSX Manager 仮想マシンにログインして、root ユーザーに切り替えます。各 Manager ノードで /etc/init.d/cm-inventory restart コマンドを実行します。

## ロード バランサに関する既知の問題

- 問題 2290899：IPsec VPN が動作せず、IPsec の制御プレーンの認識が失敗する  
同じ Edge ノードで Tier-0 の IPsec サービスと 62 台を超える LbServer が有効な場合、IPsec VPN（または L2VPN）の起動に失敗する

回避策：LbServer の数を 62 台以下に減らします。

- 問題 2318525：IPv6 ルートのネクスト ホップに設定されている eBGP ピアの IP アドレスが送信側の IP アドレスに変更される  
eBGP IP4 セッションの場合、アドバタイズされる IPv4 ルートでネクスト ホップとして eBGP ピアが設定されている場合、このルートのネクスト ホップは送信者側の IP アドレスに変更されません。IPv4 の場合、これに起因する問題は発生しません。IPv6 セッションの場合、送信側でルートのネクスト ホップが自身の IP アドレスに変更されるため、ルートがループする場合があります。この動作によって、ルートのループが発生する可能性があります。

回避策：なし。

- 問題 2362688：ロード バランサ サービスで一部のプール メンバーが停止しているときに、ユーザー インターフェイスで統合の状態が「稼動中」と表示される  
プール メンバーが停止しているときに、その状態がポリシー ユーザー インターフェイスに表示されません。プールの状態は緑で、「稼動中」と表示されます。

回避策：回避策：なし。

## ソリューションの相互運用性に関する既知の問題

- 問題 2289150：AWS 開始の PCM 呼び出しに失敗する  
CSM で AWS アカウントの PCG ロールを *old-pcg-role* から *new-pcg-role* に更新すると、CSM では、AWS の PCG インスタンスのロールを *new-pcg-role* に更新します。しかし、PCM では PCG のロールが更新されたことを認識していないため、この結果、引き続き *old-pcg-role* を使用して作成された、以前の AWS クライアントを使用します。これにより、PCM AWS クラウド インベントリ スキャンが発生し、他の AWS クラウドの呼び出しは失敗します。

回避策：この問題が発生した場合、新しいロールに変更してから 6.5 時間以上は、以前の PCG ロールを変更/削除しないでください。PCG を再起動すると、新しいロールの認証情報を使用してすべての AWS クライアントが再初期化されます。

## 運用および監視サービスに関する既知の問題

- 問題 2316943：vMotion でワークロードの保護が一時的に解除される  
vMotion 後、VMware Tools から仮想マシンの正しいコンピュータ名が報告されるまでに数秒かかります。vMotion 後の数秒間、コンピュータ名で NSGroups に追加された仮想マシンの保護が解除されます。

回避策：分散ファイアウォール ルールで使用するグループの場合、コンピュータ名ではなく、仮想マシン名をベースにした基準を使用します。

- **問題 2331683**：詳細 UI の Add-Load-balancer フォームに、バージョン 2.4 の最新の容量が表示されない

add-load-balancer フォームを開くと、詳細 UI に form-factor-capacity が表示されますが、バージョン 2.4 の最新情報が反映されていません。以前のバージョンの容量が表示されています。

回避策：なし。

## アップグレードに関する既知の問題

- **問題 2288549**：RepoSync がマニフェスト ファイルでチェックサム エラーとともに失敗する  
この問題は、2.4 にアップグレードされたばかりの展開で確認されました。アップグレードした設定のバックアップを実行し、新しく展開したマネージャにリストアした場合、データベースにあるリポジトリ マニフェスト チェックサムと実際のマニフェスト ファイルのチェックサムが一致しません。これにより、バックアップのリストア後に RepoSync が失敗とマークされます。

回避策：この問題を回避するには、次の手順を実行します。

1. CLI コマンド `get service install-upgrade` を実行します。  
結果で「Enabled on」の IP アドレスをメモしておきます。
2. 上記のコマンドで返った「Enabled on」に表示されている NSX Manager の IP アドレスにログインします。
3. [システム] > [概要] の順に移動し、戻りが「Enabled on」と同じ IP アドレスを持つノードを探します。
4. このノードで [解決] をクリックします。
5. 上記の解決処理が正常に実行されたら、同じインターフェイスのすべてのノードで [解決] をクリックします。  
3 台のノードすべてで、RepoSync の状態が [完了] と表示されます。

- **問題 2277543**：インプレース アップグレードの実行中に、ホストへのオフライン バンドルのインストールでエラーが発生し、ホスト VIB の更新に失敗する  
NSX-T 2.3.x から 2.4 にインプレース アップグレードを行う前のホストと ESXi-6.5P03 (ビルド 10884925) を実行しているホストで Storage vMotion を実行すると、このエラーが発生する場合があります。ホストのアップグレード直前に Storage vMotion を実行すると、2.3.x のスイッチ セキュリティ モジュールが削除されません。Storage vMotion によってメモリ リークが発生し、スイッチ セキュリティ モジュールのアンロードに失敗します。

回避策：ナレッジベースの記事 [KB67444](#)、[Host VIB update may fail when upgrading from NSX-T 2.3.x to NSX-T 2.4.0 if VMs are storage vMotioned before host upgrade](#) を参照してください。

- **問題 2276398**：NSX を使用して AV パートナー サービス仮想マシンをアップグレードすると、最大で 20 分ほど、保護されていない状態が継続する  
パートナー サービス仮想マシンをアップグレードすると、新しいサービス仮想マシンがデプロイされ、古いサービス仮想マシンが削除されます。ホストの Syslog に SolutionHandler の接続エラーが記録されることがあります。

回避策：アップグレード後にホストの ARP キャッシュ エントリを削除し、ホストのパートナー制御 IP アドレスに ping を送信して、この問題を解決します。

- **問題 2330417**：アップグレードされていないトランスポート ノードのアップグレードが実行できない

アップグレード時に、一部のトランスポート ノードがアップグレードされていない場合でも、アップグレード成功とマークされます。ログの場所：`/var/log/upgrade-coordinator/upgrade-coordinator.log`。

回避策：upgrade-coordinator サービスを再起動します。

## API に関する既知の問題

- 問題 2260435：デフォルトで API によって作成されたステートレス リダイレクト ポリシーまたはルールが East-West 接続でサポートされない

デフォルトで API によって作成されたステートレス リダイレクト ポリシーまたはルールが East-West 接続でサポートされません。このため、トラフィックがパートナーにリダイレクトされません。

回避策：ポリシー API を使用してリダイレクト ポリシーを作成する場合は、ステートフル セクションを作成します。

- 問題 2332397：API を使用すると、存在しないドメインでも分散ファイアウォール ポリシーが作成される

このようなポリシーを存在しないドメインに作成した後、分散ファイアウォールの [セキュリティ] タブを開くと、インターフェイスが応答しなくなります。関連するログは /var/log/policy/policy.log です。

回避策：ポリシーの作成と同じ ID でドメインを作成します。これにより、検証が成功するようになります。

## NSX Cloud に関する既知の問題

- 問題 2275232：分散ファイアウォールの Connectivity\_statregy が BLACKLIST から WHITELIST に変更されると、クラウドの仮想マシンで DHCP が動作しなくなる

新しい DHCP リースを要求する仮想マシンはすべて、IP アドレスを失います。分散ファイアウォール (DFW) でクラウド仮想マシンの DHCP を明示的に許可する必要があります。

回避策：DFW でクラウド仮想マシンの DHCP を明示的に許可します。

- 問題 2277814：仮想マシンが nsx.network タグの無効な値で vm-overlay-sg に移動する  
nsx.network タグでタグ付けされた仮想マシンが、vm-overlay-sg に移動します。

回避策：無効なタグを削除します。